

「終わり」と「始まり」の風景



大会での作品を、あらためて披露。見事な姿に感涙



後輩へと伝統はしっかり受け継がれていきます

前顧問 大澤先生より、1人1人に色紙贈呈
各自の映し出された姿を、文字に表して贈られました

前後期制の本校では **9月20日に前期終了と後半に向けての「終始業式」を行いました。**前半の半年は3年生にとっては集大成となる部活動の大会や文化祭が実施され熱き夏を体感した日々でした。大きな事故等がなく安堵していること、またさまざまな活動に頑張ったこと、留学等の体験や世界へ目を向ける生徒が多かったことなどをまとめとしました。**23日は書道部の全国パフォーマンス甲子園3位受賞の祝賀披露会**でした。3年生にとって最後となる筆納めとして大会で披露した演技を3年生全員で披露してくれました。力強い筆遣いと息づく作品はもしかしたら大会よりも上出来！？1,2年生からの感謝の作品も披露し世代交代の時間を共有しました。歴史が刻まれ伝統が受け継がれる。いつの時代もこの繰り返しが時代を作り未来への扉を開けています。**26日はLHRにて防災教育を実施。**震度5強以上の災害の時、自分はどこにいた場合どう動くかをシミュレーション。災害が続く中、自分ごととして考える貴重な時間になりました。**探究の時間では1年生が松本探究に向けてのスタートアップとして連携コーディネーター宮木さんのお話を伺いました。**宮木さんのお話の中の、探究のテーマ設定「Will(興味関心)とNeed(必要性和課題)から探す」という言葉は、すべてに通じる原点であるなど感じています。後半に向けてスタートしました。また1つずつ夢の実現に向けて充実した日々を送っていきましょう

